

## 第17回 東アジア近代史学会研究大会プログラム

- ・日 時：2012年6月16日(土)～17日(日)
- ・場 所：日本大学文理学部 百周年記念館国際会議場(世田谷キャンパス)
- ・参加費：会員1000円・非会員1500円
- ・主 催：東アジア近代史学会
- ・共 催：平成24年度文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「東アジアにおける都市形成プロセスの統合的把握とそのデジタル化をめぐる研究」(研究代表者：日本大学文理学部教授 加藤直人)

### ◎大会シンポジウムテーマ：

国境の多層性と明瞭化―19世紀東アジアの経験

### ◎歴史資料セッションテーマ：

激甚災害から公文書などの記録資料を如何に守っていくか

#### <スケジュール>

2012年6月16日(土)

9時00分 受付開始

9時30分 大会開会挨拶 井口和起 会長

9時40分 シンポジウム「国境の多層性と明瞭化―19世紀東アジアの経験」趣旨説明  
高江洲昌哉 氏(神奈川大学)

9時50分～11時50分 報告Ⅰ 司会 栗原純 氏(東京女子大学)

- ①「移動民のエコノミーと主権の転位―小笠原諸島をめぐる国境の形成過程―」  
報告者 石原俊 氏(明治学院大学)
- ②「近世対馬沿岸の漁業と越境行為―朝鮮海密漁と対馬藩の西目掟規制―」  
報告者 木部和昭 氏(山口大学)
- ③「19世紀後半の鴨緑江境界と越江朝鮮人―『江北日記』を通して―」  
報告者 秋月望 氏(明治学院大学)

11時50分～13時20分 昼食・理事会(場所：百周年記念館 会議室2)

13時20分～14時40分 報告Ⅱ 司会 千葉功 氏(学習院大学)

- ①「帝政期のロシア極東における「自由貿易」の意味」  
報告者 左近幸村 氏(早稲田大学)
- ②「19世紀の国境策定と先住民―樺太とアムール川流域における日中露のせめぎあいの中で―」  
報告者 佐々木史郎 氏(国立民族学博物館)

14時40分～15時10分 コメント

コメンテーター 「中華民国史の視点から」黄東蘭 氏（愛知県立大学）  
「東南アジア史の視点から」床呂郁哉 氏（東京外国語大学）

15時10分～15時25分 休憩

15時25分～17時00分 全体討論

司会 櫻井良樹 氏（麗沢大学）、高江洲昌哉 氏

17時00分～17時50分 総会

18時00分～20時00分 懇親会（3号館1階食堂）

懇親会会費 一般6000円 院生・学生3000円

2012年6月17日（日）

9時30分 受付開始

10時00分～11時30分 自由論題報告

①「懋勤殿開設案—伊藤博文顧問招聘策と戊戌政変—」

報告者 宮古文尋 氏（上智大学大学院）

司 会 佐々木揚 氏（佐賀大学）

②「李鴻章の対日観—「日清修好条規」締結時を中心にして—」

報告者 白春岩 氏（早稲田大学）

司 会 佐々木揚 氏（佐賀大学）

③「司法省における刑法編纂の契機とその背景」

報告者 大庭裕介 氏（国士舘大学大学院）

司 会 大谷正 氏（専修大学）

11時30分～13時00分 昼食

13時00分～17時00分

歴史資料セッション「激甚災害から公文書などの記録資料を如何に守っていくか」

司会 檜山幸夫 氏（中京大学）

13時00分～13時15分 趣旨説明 檜山幸夫

13時15分～15時25分 報告

①「激甚災害に対する自治体文書の被災状況と救助・復旧活動から見えてきた問題点」

報告者 青木睦 氏（国文学研究資料館）

②「九・二一台湾中部大地震における文書史料の救助と修復及びその後の対策」

報告者 東山京子 氏（中京大学）

③「五・一二中国四川大地震における文書修復とその後の対策」

報告者 鄭永明 氏（重慶市檔案館）

15時25分～15時35分 休憩

15時35分～15時55分 コメント

コメンテーター シルヴィオ・ヴィータ 氏（京都外国語大学）

16時00分～17時00分 全体討論

以上